

事務事業評価調書

事務事業名	警備活動事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	消防法、消防組織法、水道法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民の生命、身体及び財産											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	火災・地震の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減する。												
(7) 事業概要	消防活動に必要な資格の取得、訓練及び研修、水道法等に基づく消火栓整備における費用負担等。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		52,497	52,212	49,916	41,670	30,518							
	人件費	職員数	人	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00						
		総額(B)	千円	1,252,800	1,205,850	1,225,500	1,185,000	1,207,800						
	総事業費(A+B)		1,305,297	1,258,062	1,275,416	1,226,670	1,238,318							
	(内訳)	特定財源(C)		0	1	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	1	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		1,305,297	1,258,061	1,275,416	1,226,670	1,238,318						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		1,305,297	1,258,061	1,275,416	1,226,670	1,238,318								
財源計(C+D)		1,305,297	1,258,062	1,275,416	1,226,670	1,238,318								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	自動車教習所										
			②	小型船舶免許教習所										
			③											
	主な委託内容		中型・大型免許、船舶免許等の取得											
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	水道部(消火栓新設・修繕等)											
		②	各種大会・研修出席、資格取得講習等											
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 大型消防自動車の運用に係る大型自動車免許の所持者数	目標値	(単位:人)	158.00	158.00	158.00	
			実績値	(単位:人)	152.00	158.00		
			達成度(%)		96.2	100.0		
	目標値の積算方法	現状の大型消防車両の出場体制を維持できる人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8,276.72	8,020.06	
				一般財源(単位:千円)		8,276.72	8,020.06	
	②	指標内容 消火栓新設及び布設替え数	目標値	(単位:基)	103.00	93.00	46.00	
			実績値	(単位:基)	112.00	78.00		
			達成度(%)		108.7	83.9		
目標値の積算方法		水道部と調整した年度計画数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11,232.70	16,245.77	
	一般財源(単位:千円)				11,232.69	16,245.77		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	消防業務を総合的に強化・充実させることができ、安心・安全な市民生活に寄与する。			達成状況	数値で把握することは困難であるが、災害被害の軽減に努めている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		消防活動の技術向上を図るための訓練・研修等に係わる事業であり、複雑・多様化する災害に対する確に対応するため、消防活動体制を検討し、隊員に高度な知識及び技術を習得させることにより災害防御能力の向上させ、災害による被害の軽減や消火栓の適正な配置等、市民に対し事業を通じて高いレベルの安心・安全を常に提供していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室 警防グループ	事業名	警備活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00797				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室 警防グループ	事務事業番号	00797
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3)現状分析	<p>当該事業は、多種多様な災害対応に向けた訓練・研修等を進める中、職員の知識と技術向上を図ることを目的としており、限られた財源の中で進めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	消防車両整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	消防法、消防組織法、消防力の整備指針、梯子自動車の安全指針、道路運送車両法等													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	消防車両、救急車両											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	車両の点検、整備、修繕の実施等、良好な維持管理 消防車両及び資機材を良好に維持管理することにより、常に適正な消防力を維持する。												
(7) 事業概要	消防車両の継続検査(車検)、法定点検(6か月点検・12か月点検など)の他、はしご自動車のオーバーホール(分解整備)や、その他、修繕の実施。また、自動車重量税や保険料も含まれる。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	02	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		50,787	51,590	49,141	50,501	18,892							
	人件費	職員数	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00						
		総額(B)	千円	25,056	24,117	24,510	23,700	24,156						
	総事業費(A+B)		75,843	75,707	73,651	74,201	43,048							
	特定財源(C)		0	1,213	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	1,213	0	0	0							
	市負担(D)		75,843	74,494	73,651	74,201	43,048							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		75,843	74,494	73,651	74,201	43,048								
財源計(C+D)		75,843	75,707	73,651	74,201	43,048								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	自動車修理工場、民間車検場等										
			②											
			③											
	主な委託内容		車両継続検査、法定点検											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	消防力を維持するための車両管理	目標値	(単位:回)	152.00	149.00	140.00
			実績値	(単位:回)	152.00	149.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	法令等に基づく検査、点検等の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	498.07	503.43		
				一般財源(単位:千円)	490.09	503.43		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	点検整備の実施	目標値	(単位:台)	85.00	85.00
	実績値			(単位:台)	85.00	85.00	/	
	達成度(%)		100.0	100.0				
	目標値の積算方法	消防活動等における不具合が発生しなかった台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	890.67	882.48		
				一般財源(単位:千円)	876.40	882.48		
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
①	活動内容					目標		
	成果内容					達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		法令や指針等に定められた点検整備を計画的に実施し、不具合箇所は修繕等を行い、消防・救急車両及び資機材を良好な状態で維持管理することで、迅速な対応を求められる消防業務に支障をきたすことなく、常に適切な消防力を維持できている。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室 警防グループ	事業名	消防車両整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00798				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	警防救急室 警防グループ	事務事業番号	00798
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

消防車両の故障等は、人命の危険に結びつく可能性が高いが、厳しい財政状況の中、整備を実施している状況です。H28年度についてははしご車のオーバーホール(分解整備)を実施できたが、今後も安全を確保するため、実施する必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	消防車両更新事業と連携を図りながら、コストの効率性に努めている。														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	消防装備品整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正内容	なし																	
(2) 直近の改正	なし																			
(3) 根拠法令等	消防法、消防力の整備指針																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30													
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
	範囲等	消防用ホースや防火衣等の消防活動に必要な消防装備品																		
	目標 (どうい状態にしたいのか)	地域特性や時代に合った消防装備品を総合的に整備し、適切に更新を図る。																		
	結果 (どのような効果が得られるのか)	消防装備品の充実・強化及び更新 消防力の維持・強化																		
(7) 事業概要	複雑多様化する各種の災害に対し、迅速で適切な消防活動を遂行するため、消防装備品の充実・強化及び適切な更新を図るとともに、安全なまちづくりに貢献させる。																			
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大	事	業	03	中	事	業	02	小	事	業	03
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		10,716	9,615	10,923	10,852	11,965													
	人件費	職員数	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00													
		総額(B)	25,056	24,117	24,510	23,700	24,156													
	総事業費(A+B)		35,772	33,732	35,433	34,552	36,121													
	特定財源(C)		204	204	205	205	200													
	(内訳)	国	0	0	0	0	0													
		府	0	0	0	0	0													
		その他	204	204	205	205	200													
	市負担(D)		35,568	33,528	35,228	34,347	35,921													
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0													
		その他	0	0	0	0	0													
		一般財源	35,568	33,528	35,228	34,347	35,921													
財源計(C+D)		35,772	33,732	35,433	34,552	36,121														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	大阪国際空港周辺対策基金助成あり																		

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 消防装備品の購入額	目標値	(単位:円)	10,716.00	10,923.00	11,965.00	
			実績値	(単位:円)	9,615.00	10,852.00		
		達成度(%)				89.7	99.3	
	目標値の積算方法	消防装備品の予算額	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.51	3.26	
				一般財源(単位:千円)		3.49	3.24	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	装備品に不備なく消防活動が実施できるよう整備を図る。	達成状況	経年使用により劣化している装備品が見受けられる。			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	装備品に不備があることなく適切で確実な消防活動が実施できるよう整備及び更新を図るとともに、新規装備品としてドローンの導入を検討する。						

事務事業分析シート

所属名	警防救急室 警防グループ	事業名	消防装備品整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00799				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室 警防グループ	事務事業番号	00799
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Appropriateness), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>概ね計画どおり充足できているが、財政状況に応じ計画を変更しているため、計画どおり進んでいない装備品も存在する。必要な装備品を充足させることにより、適切な消防力の維持が可能となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	救急活動事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和36年度	改正 内容	消防力の整備指針(救急自動車の台数、救急隊員数の算定)											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	消防組織法、消防法、消防力の整備指針、救急救命士法、救急業務実施基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市内の全ての人												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	救急車を必要とする傷病者の救命、症状の悪化軽減を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	質の高いサービスの提供により安心、安全な市民生活に寄与する。													
(7)	事業概要	救急現場から通報を受けて現場へ出動し、救急現場到着後、迅速かつ的確に傷病者の症状を観察し、医療機関との密接な連携の上で、救命処置を施しながら、傷病者の症状に適応した医療機関へ搬送する活動を担っている。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	04	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,377	7,617	4,191	5,160	5,395							
		人件費	職員数	人	60.00	60.00	60.00	60.00	70.00						
			総額(B)	千円	501,120	482,340	490,200	474,000	563,640						
		総事業費(A+B)		507,497	489,957	494,391	479,160	569,035							
		特定財源(C)		0	3,164	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	3,164	0	0	0							
		市負担(D)		507,497	486,793	494,391	479,160	569,035							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	507,497		486,793	494,391	479,160	569,035									
財源計(C+D)		507,497	489,957	494,391	479,160	569,035									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	救急出動件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	17,521.00	18,306.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	1年間の救急出動件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	27.96	27.06		
				一般財源(単位:千円)	27.78	27.06		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)	目標値	(単位:%)	16.00		16.00
			実績値	(単位:%)	16.40	25.90		
		達成度(%)		102.5	161.9			
	目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	29,875.43	19,125.87		
				一般財源(単位:千円)	29,682.50	19,125.87		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成29年度も救急隊の増隊があり、救急件数の増加、救急救命士の処置の拡大などにより医薬材料費の増加が見込まれるが、救急隊員への器材コスト意識の向上、安価な器材への切換え等で歳出の増加を少しでも軽減できるように努力している。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	救急活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00803				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室	事務事業番号	00803
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>救急隊の増隊、救急件数の増加、災害用救急資器材の更新などにより、若干の事業費の増大はあるが、出来るだけコスト削減をして対応していく。 これからも、救急車の適正利用の広報を進める必要がある。 市民の安心安全のため、より一層の質の向上を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	救急救命士資格取得推進事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成3年度	改正 内容	救急救命士の行う処置範囲の拡大があり、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が追加となった。											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	救急救命士法(平成3年4月23日法律第36号)													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	資格取得後の救急救命士及び就業前救急救命士。												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	救急救命士の知識・技術向上。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	傷病者の救命率の向上、病状悪化軽減に繋げる。												
(7) 事業概要	資格取得後救急救命士の再教育のための病院研修、就業前救急救命士病院研修(国家試験合格後、救急車乗務前の必須研修)、救急救命士の行う救命処置に伴う賠償責任保険。救急救命士の処置範囲拡大に伴う知識・技術の向上、医療機関との連携体制の確立、重度傷病者の救命率向上を図る。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	04	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,122	1,022	1,276	1,194	9,147							
	人件費	職員数	人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00						
		総額(B)	千円	16,704	16,078	16,340	15,800	16,104						
	総事業費(A+B)		17,826	17,100	17,616	16,994	25,251							
	特定財源(C)		0	105	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	105	0	0	0							
	市負担(D)		17,826	16,995	17,616	16,994	25,251							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		17,826	16,995	17,616	16,994	25,251								
財源計(C+D)		17,826	17,100	17,616	16,994	25,251								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	済生会千里病院										
			②											
			③											
	主な委託内容		救急救命士就業前研修											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	救急出場件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	17,521.00	18,306.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	1年間の救急出場件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.98	0.96		
				一般財源(単位:千円)	0.97	0.96		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)	目標値	(単位:%)	16.00		16.00
			実績値	(単位:%)	16.80	25.90		
		達成度(%)		105.0	161.9			
	目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,017.86	676.99		
				一般財源(単位:千円)	1,011.61	676.99		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		新しい救急救命士の養成、現在の運用救急救命士の再教育を継続して行っている。指導救命士の養成、救急救命士の処置範囲拡大に伴い、資質の向上を図っている。救急隊増隊に伴い、救急救命士の資格取得者の増加が必要である。平成29年度の事業費の増加の理由として、消防総務事業と消防職員教育・訓練充実事業にあった救急救命士にかかる事業を移行したため増額となっている。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	救急救命士資格取得推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00804				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	警防救急室	事務事業番号	00804
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	18	有効性	15	効率性	2	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価点数														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	2														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>救急隊には救急救命士1名以上の運用が必要であり、運用救急救命士には知識・技術の向上のため、病院研修は必須である。引き続き、救急隊の増隊に伴い救急救命士の資格取得の増加が必要である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	高規格救急自動車等資器材整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成3年度	改正 内容	消防力の整備指針(救急車の台数、救急隊員数の算定)											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	救急救命士法(平成3年4月23日法律第36号)、救急業務実施基準、消防力の整備指針													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	救急車及び救急関連資器材。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	高規格救急車積載資器材及び救急訓練用資器材の充実。 救急資器材等の整備による救命率の向上。												
(7) 事業概要	高規格救急車積載資器材の整備を進め、救急業務の強化を図る。救急救命士の行う救急救命処置の範囲が拡大(平成16年・気管挿管、平成18年・薬剤投与、平成23年度・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管、平成25年度心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与)され、救命処置の技術向上のため、訓練用資器材の整備、更新が必要。モバイル・テレメディシン・システムの運用の継続。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	04	小事業	03
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,680	2,620	2,472	2,367	2,514							
	人件費	職員数	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00							
		総額(B)	千円	33,408	32,156	32,680	31,600	32,208						
	総事業費(A+B)		36,088	34,776	35,152	33,967	34,722							
	(内訳)	特定財源(C)		0	211	0	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	(内訳)	市負担(D)		36,088	34,565	35,152	33,967	34,722						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		36,088	34,565	35,152	33,967	34,722						
財源計(C+D)		36,088	34,776	35,152	33,967	34,722								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	救急出動件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	17,521.00	18,306.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	1年間の救急出動件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.98	1.91		
				一般財源(単位:千円)	1.97	1.91		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)	目標値	(単位:%)	16.00		16.00
			実績値	(単位:%)	16.80	25.90		
		達成度(%)		105.0	161.9			
	目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,070.00	1,353.17		
				一般財源(単位:千円)	2,057.44	1,353.17		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		高規格救急自動車の資器材、訓練用人形の保守点検が含まれている。救急業務は市民の生命・身体を事故や災害から守り、安心安全な生活を確保するものであり、市民にとって必要不可欠な行政サービスとして定着している。今後はさらに救急資器材の整備を進め、救命処置の向上を図ることにより、傷病者の救命率の向上及び予後の改善に繋げる。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	高規格救急自動車等資器材整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00805				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	警防救急室	事務事業番号	00805
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>高規格救急自動車の整備を進め、救急体制の強化を図ることにより、傷病者の救命率及び予後の改善等の向上が期待され、市民にとって必要不可欠な事業である。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	応急手当普及啓発事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成6年度	改正 内容	応急手当の普及活動の推進に関する実施要綱の一部改正(救命入門コース、e-ラーニングの追加等)											
(2)	直近の改正	平成23年度													
(3)	根拠法令等	応急手当普及啓発活動実施要綱(平成5年3月30日消防救第41号都道府県知事あて消防庁次長)													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市在住者及び在勤者または在学者。救命入門コースは10歳から受講可能。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	応急手当に関する正しい知識と技術を習得してもらう。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市民による自主救護能力の向上及び救急事故現場での救命のリレーにより救命率の向上に繋がっている。												
(7)	事業概要	市民対象に応急手当普及啓発活動実施要綱に基づいた、普通救命講習等を開催し、応急手当に関する指導を行う。講習にあたり、応急手当普及員が講習を行う場合には、必要に応じて署員を派遣し立ち会うことにより、指導内容の確認を行う。所定の講習を修了した者に対して、普通救命講習修了証(3時間)、上級救命講習修了証(8時間)、応急手当普及員認定証(24時間)を交付している。また、救命入門コース(90分)を設定し、参加証を交付する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	04	小事業	04
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,594	1,444	1,458	1,265	1,680							
		人件費	職員数	4.00	4.00	4.00	4.00	7.00							
			総額(B)	千円	33,408	32,156	32,680	31,600	56,364						
		総事業費(A+B)		35,002	33,600	34,138	32,865	58,044							
		特定財源(C)		0	211	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	211	0	0	0							
		市負担(D)		35,002	33,389	34,138	32,865	58,044							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	35,002		33,389	34,138	32,865	58,044									
財源計(C+D)		35,002	33,600	34,138	32,865	58,044									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 応急手当普及啓発事業受講者数	目標値	(単位:人)	5,000.00	5,000.00	0.00
			実績値	(単位:人)	7,905.00	9,352.00	
			達成度(%)		158.1	187.0	
	目標値の積算方法	吹田市生産年齢人口の20%を10年間の 応急手当技能取得者の目標値とし、その10 分の1(5,000人)を年間受講者数の目標	単位当 りコスト	総事業費(単位:千円)	4.25	3.63	
				一般財源(単位:千円)	4.22	3.63	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当 りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 心肺蘇生処置を実施しなければならない傷 病者の一般市民による応急手当(心肺蘇生 法)実施率	目標値	(単位:%)	48.00	48.00	48.00
			実績値	(単位:%)	52.40	53.40	
			達成度(%)		109.2	111.3	
	目標値の積算方法	ウツタイン統計における実施率	単位当 りコスト	総事業費(単位:千円)	641.22	635.67	
				一般財源(単位:千円)	637.19	635.67	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当 りコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		救命率の向上のためには、救急隊が到着するまでに、その場に居合わせた市民が適切な応急手当を実施することが必要である。119番通報時の指令員の口頭指導の質の向上・実施率の向上もあり、市民による心肺蘇生の実施率が増加している。その他に、普段から市民に対しての応急手当に関する正しい知識と技術の普及が必要である。本事業は市民の関心やニーズの高まりが年々増加しており、事業の拡充が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	応急手当普及啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00806				

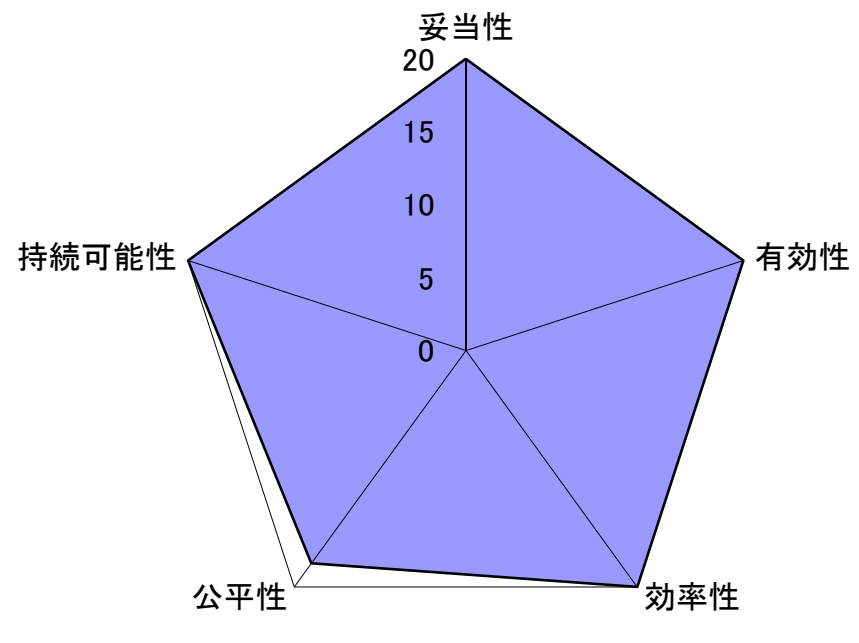
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20			
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室	事務事業番号	00806
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>応急手当普及啓発活動は目標通り進めている。市民による応急手当の実施率も向上しており、救命率の向上には更なる普及啓発活動の拡充が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	救急業務体制整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和36年度	改正 内容	救急救命士の処置範囲の拡大があり、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が追加となった。											
(2)	直近の改正	平成25年度													
(3)	根拠法令等	救急救命士法、救急業務実施基準													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	救急業務一般											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	効果的で円滑な救急業務の確立及び救急隊員の応急処置等の質が向上し、救命率を上げることができる。												
(7)	事業概要	救急救命士法の改正により、救急救命処置が拡大され、事後検証等、教育を含めたメディカルコントロール体制の充実強化が定められた。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	04	小事業	05
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,541	3,360	3,400	3,263	3,352							
		人件費	職員数	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00							
			総額(B)	千円	33,408	32,156	32,680	31,600	32,208						
		総事業費(A+B)		36,949	35,516	36,080	34,863	35,560							
		特定財源(C)		5,485	211	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	5,485	211	0	0	0							
		市負担(D)		31,464	35,305	36,080	34,863	35,560							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	31,464		35,305	36,080	34,863	35,560									
財源計(C+D)		36,949	35,516	36,080	34,863	35,560									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	救急出動件数	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	17,521.00	18,306.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	1年間の救急出動件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.03	1.96		
				一般財源(単位:千円)	2.02	1.96		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)	目標値	(単位:%)	16.00		16.00
			実績値	(単位:%)	16.80	25.90		
		達成度(%)		105.0	161.9			
	目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2,114.05	1,387.76		
				一般財源(単位:千円)	2,101.49	1,387.76		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		日進月歩で進む救急医療の知識及び技術を習熟するために、様々な教育を受講する必要がある。傷病者の救命率の向上の観点から、事後検証等、その他教育を含めたメディカルコントロール体制の充実強化が重要な課題とされている。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	救急業務体制整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00807				

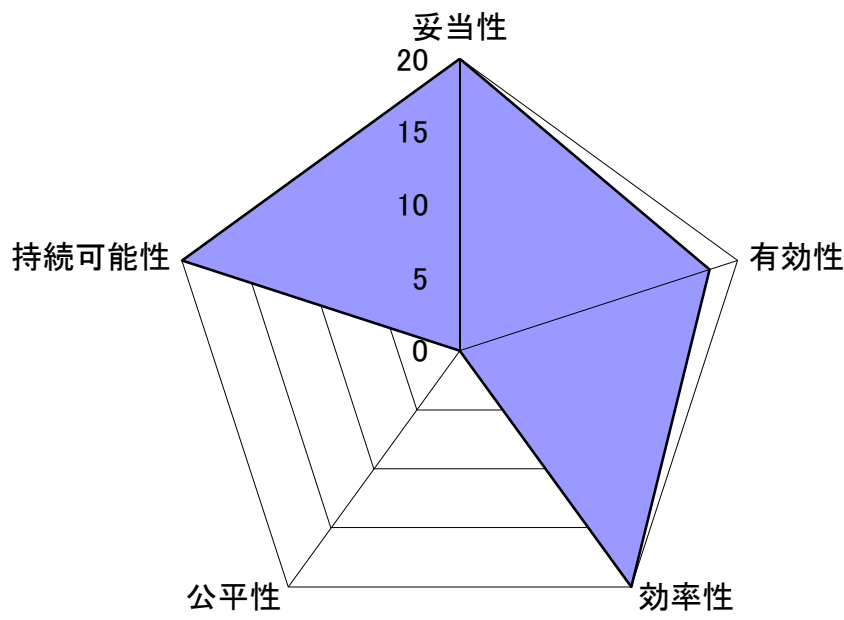
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	警防救急室	事務事業番号	00807
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は救急隊員の知識・技術の向上を図る生涯教育のための事業であり、今後も救急隊の増隊により、救急資格者が増加するので、拡充して継続実施する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	救助活動事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和53年度	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	消防法、消防組織法、救助隊の編成・装備及び配置の基準を定める省令、国際緊急援助隊の派遣に関する法律等													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	あらゆる災害、事故及び自然災害などにより救助を必要とする市民等。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	救助を必要とする市民等を安全・確実・迅速に救出する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	迅速かつ確かな救助活動を行うことにより市民等の安心安全の確保をする。												
(7)	事業概要	災害現場における要救助者の救出という任務を遂行するため、職員に対し専門的教育及び訓練を継続的に実施し、各種救助資器材の習熟及び高度な救助技術の習得によりあらゆる災害や事故等による要救助者を安全、確実、迅速に救出する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	05	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,253	2,137	1,510	1,408	1,597							
		人件費	職員数	人	28.00	28.00	28.00	28.00	28.00						
			総額(B)	千円	233,856	225,092	228,760	221,200	225,456						
		総事業費(A+B)		236,109	227,229	230,270	222,608	227,053							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		236,109	227,229	230,270	222,608	227,053							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			236,109	227,229	230,270	222,608	227,053								
財源計(C+D)		236,109	227,229	230,270	222,608	227,053									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	救助訓練実施件数	目標値	(単位:件)	661.00	753.00	599.00
			実績値	(単位:件)	753.00	599.00	/	
		達成度(%)			113.9	79.5		
	目標値の積算方法	前年度実績による。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		301.76		384.25
				一般財源(単位:千円)		301.76	384.25	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		前年度実績による。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標	①	指標内容	救助出動件数	目標値	(単位:件)	216.00	234.00	255.00
			実績値	(単位:件)	234.00	255.00	/	
		達成度(%)			108.3	109.0		
	目標値の積算方法	前年度実績による。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		971.06		902.62
				一般財源(単位:千円)		971.06	902.62	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		前年度実績による。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場合 示 す	①	活動内容	救助出動件数(255件)			目標	市民等を安全、確実、迅速に救出するため、救助体制の充実強化を図る。	
	②	成果内容	救助人員数(124人)			達成状況	救助体制の充実強化のため専門的教育及び各種訓練を継続的に実施し、高度な救助技術の習熟を図った。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>昨今の社会情勢の変化及び自然災害の増加等に伴い、本事業の実施意義は増しており、あらゆる災害に対応する救助隊への期待は益々増大している。</p> <p>本市消防本部は海外で大規模災害が発生した際、人道的及び国際協力の観点から国際緊急援助の一部である国際消防救助隊にも発足と同時に登録しており、また、国内または市内での大規模災害に対応する緊急消防援助隊での活動も含め、より高度な知識及び技術を備えた人材の育成のためさらにこの事業を推進していくことが必要で、今後も救助体制の充実強化を継続的に図っていくことが市民の安心安全に繋がると考えている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室救助グループ	事業名	救助活動事業	事業区分	その他
事務事業番号	00808				

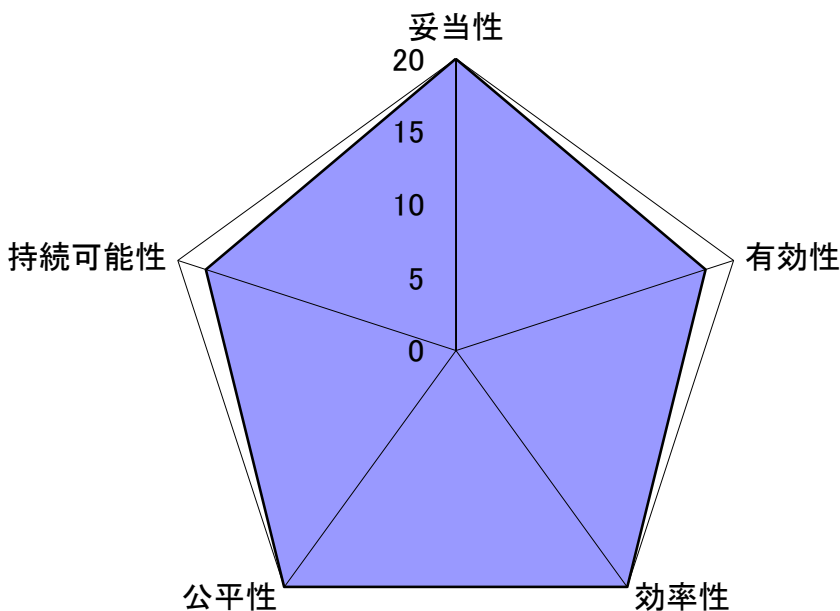
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室救助グループ	事務事業番号	00808
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近年、社会情勢の変化や大規模災害等が発生している中、本市においてもそれらの災害に迅速に対応するため、さらなる救助体制の充実強化が必要である。救助体制の充実強化のため、救助技術に関する高度な知識、技術を備えた人材の育成及び高度な救助資機材を有効に活用するための教育や訓練を実施するうえで、本事業をさらに推進していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国においても大規模災害に備え、緊急消防援助隊活動での連携及びそれらの活動に必要な資機材の高度化や人材の育成を推進しており、本市においても平成28年度発隊した高度救助隊を中心とし、さらなる救助体制の充実強化が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	救助資器材等整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和53年	改正 内容												
(2)	直近の改正														
(3)	根拠法令等	救助隊の編成・装備及び配置の基準を定める省令													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	救助隊員の救助活動に必要な資器材等。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	救助資器材の整備、高度化、充実強化。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	救助資器材の整備、高度化、充実強化することにより、市民等を安全、確実、迅速に救出する。													
(7)	事業概要	火災及び高低所での事故や水難事故での救助活動時、また大規模自然災害やNBC災害等の特殊災害事象に対応するための救助資器材を整備・充実強化を図る。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	01	大事業	03	中事業	05	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,378	2,620	3,656	3,645	2,622							
		人件費	職員数	人	2.00	1.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	16,704	8,039	16,340	15,800	16,104						
		総事業費(A+B)		19,082	10,659	19,996	19,445	18,726							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		19,082	10,659	19,996	19,445	18,726							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	19,082		10,659	19,996	19,445	18,726									
財源計(C+D)		19,082	10,659	19,996	19,445	18,726									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	救助資器材による救助訓練実施件数。	目標値	(単位:件)	661.00	753.00	599.00
			実績値	(単位:件)	753.00	599.00	/	
		達成度(%)		113.9	79.5			
	目標値の積算方法	前年度実績による。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.16	33.36		
				一般財源(単位:千円)	14.16	33.36		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場合 示 す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	救助出動件数(255件)			目標	市民等を安全、確実、迅速に救出するため、救助資器材の整備を推進し救助体制の充実強化を図る。		
	②	成果内容	救助人員数(124人)			達成状況	あらゆる災害に対応するため救助資器材の整備、強化を実施し高度化を図った。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		救助資器材の更新を計画的に行うとともに、あらゆる災害に適応する救助資器材を整備、高度化し、活用方法の研究等を行い救助体制の充実強化を進めることにより要救助者を安全、確実、迅速に救出できると考えている。そのため本事業の実施意義は有効性の視点からも重要であり、救助活動事業や他の取組みと連携してこの事業を推進することで市民等の安心・安全の確保に繋がる。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室救助グループ	事業名	救助資器材等整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00809				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室救助グループ	事務事業番号	00809
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近年の災害事象は人命救助だけではなく、都市化の進展、社会情勢や生活環境の変化等により災害自体の態様も複雑多岐にわたっている。そのため、高度な救助資器材を活用して救出時間の短縮や救命率の向上と被害の軽減をめざし、要救助者を安全迅速に救出するため本事業を推進していくことが市民等の安心・安全の確保につながる。また、本市は国際消防救助隊登録消防本部であり、日本チームとして人道的、国際協力の観点から救助活動をするにあたり高い能力が求められているため救助資器材の継続的な整備が不可欠である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準により、国際消防救助隊は高度救助資器材に精通する必要がある。また国や府においても大規模災害時の緊急消防援助隊活動での連携及びそれらの活動に必要な資器材の高度化や人材育成について整備をすすめており、本市においても平成28年度発隊した高度救助隊を中心としさらなる救助体制の充実強化が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	消防車両更新事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	消防組織法、消防力の整備指針													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	老朽化及び法的規制を受けた消防車両及び救急車												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	計画的な更新を実施し、消防力の低下防止を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	時代に即した消防活動を展開するため、消防車・救急車の更新を適切に実施することにより、消防力の充実強化を図り、安心・安全のまちづくりに寄与する。													
(7)	事業概要	老朽化及び排ガス規制を受けた車両等を計画的に更新することで、最新の消防車両を導入し消防力の充実を図り、市民の安心・安全に寄与する。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		153,566	152,382	219,857	216,959	142,447							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052						
		総事業費(A+B)		161,918	160,421	228,027	224,859	150,499							
		特定財源(C)		13,774	0	70,818	70,745	23,289							
		(内訳)	国		13,774	0	70,818	70,745	23,289						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		148,144	160,421	157,209	154,114	127,210							
		(内訳)	地方債		121,900	128,200	125,100	117,500	89,700						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			26,244	32,221	32,109	36,614	37,510								
財源計(C+D)		161,918	160,421	228,027	224,859	150,499									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	緊急消防援助隊設備整備費補助金あり。													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	消防車両更新台数	目標値	(単位:台)	3.00	4.00	7.00
			実績値	(単位:台)	3.00	4.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	更新計画に基づく車両更新	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	53,473.67	56,282.25		
				一般財源(単位:千円)	10,740.33	9,221.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	救助工作車、北救急車1、南救急車2、南査察車を更新した。			達成状況	更新予定通り更新を完了した。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		財政状況に応じて更新計画に変更があるため、更新できていない車両がある。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室 警防グループ	事業名	消防車両更新事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00811				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
内部管理		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室 警防グループ	事務事業番号	00811
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>財政状況下に応じて更新計画に変更があるため、更新できていない車両がある。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	防火水槽整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和56年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	消防法、消防水利の基準						
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 01	細節 30			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
		範囲等	防火水槽の不足地域					
		目標 (どういう状態にしたいのか)	耐震性防火水槽の設置					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	大規模災害時における水道断水(消火栓が使用不能)時の消防水利の確保						
(7)	事業概要	震災時や水道断水時における消防水利を確保するため、災害時の活動拠点となる公共施設等に耐震性防火水槽を整備し、地域の実情とニーズにも対応した消防水利の適正な配置を図る。						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 09	項 01	目 04	大事業 01	中事業 01	小事業 07
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		22,517	20,199	24,466	19,495	26,570
		人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			総額(B)	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052
		総事業費(A+B)		30,869	28,238	32,636	27,395	34,622
		特定財源(C)		6,500	6,700	6,700	6,700	6,700
		(内訳)	国	6,500	6,700	6,700	6,700	6,700
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		24,369	21,538	25,936	20,695	27,922
		(内訳)	地方債	11,300	9,300	13,900	13,900	15,400
その他	0		0	0	0	0		
一般財源	13,069		12,238	12,036	6,795	12,522		
財源計(C+D)		30,869	28,238	32,636	27,395	34,622		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①				
②								
③								
<input checked="" type="checkbox"/> その他		内容	社会資本整備総合交付金あり					

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	公設耐震性防火水槽の設置数	目標値	(単位:基)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:基)	1.00	1.00		
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	毎年1基	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		28,238.00	27,665.00	
				一般財源(単位:千円)		12,238.00	7,065.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(2) 成果指標		①	指標内容	市域を280メッシュで区切った全531区画の内、市域境界等の整備対象外区画を除く区画に消火栓以外の消防水利を設置する。	目標値	(単位:区画)		504.00
	実績値			(単位:区画)	482.00	483.00		
	達成度(%)		95.6	95.6				
	目標値の積算方法	消火栓以外の消防水利を必要とする全区画	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		58.59	57.28	
				一般財源(単位:千円)		25.39	14.63	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00		0.00
(3) が困難な場合		①	活動内容					目標
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		大規模な震災が発生した場合、水道管の破損等により消火栓が使用できなくなってしまう可能性が高いため、市域を280mのメッシュで区切った区画全てに消火栓以外の消防水利(耐震性防火水槽)を整備し、消防水利を確保することは安全なまちづくりに直結するものであることから、今後も未整備区画を中心に整備を進めていく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	警防救急室 警防グループ	事業名	防火水槽整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00812				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室 警防グループ	事務事業番号	00812
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>設置には一定の公共的空間が必要であることから、既存の住宅密集地等においては設置場所の確保及び設置方法を検討し、今後の計画に反映させている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	可搬式小型動力ポンプ整備事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成8年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	消防法、消防水利の基準													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	地域住民で構成される自主消火組織											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	震災時等における地域住民による消火活動体制の整備												
(7) 事業概要	震災等における大規模災害時の同時多発火災に対応するとともに、消防力の不足を補うため、可搬式小型動力ポンプ及びポンプ格納庫を整備し、さらに自主消火組織を育成することにより、地域防災体制の向上を図り、市民参加による災害に強い安全なまちづくりを進める。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	04	大事業	01	中事業	02	小事業	08
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,346	1,685	1,343	1,187	1,433							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		9,698	9,724	9,513	9,087	9,485							
	特定財源(C)		896	896	895	895	900							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	896	896	895	895	900							
	市負担(D)		8,802	8,828	8,618	8,192	8,585							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		8,802	8,828	8,618	8,192	8,585								
財源計(C+D)		9,698	9,724	9,513	9,087	9,485								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	大阪国際空港周辺対策基金助成あり												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 可搬式小型動力ポンプ設置台数	目標値	(単位:台)	2.00	1.00	1.00	
			実績値	(単位:台)	1.00	1.00		
			達成度(%)		50.0	100.0		
	目標値の積算方法	各年度1台	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9,724.00	9,357.00	
				一般財源(単位:千円)		8,828.00	8,462.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		各年度1地域	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 自主消火組織の結成数	目標値	(単位:地域)	2.00	1.00	1.00
	実績値			(単位:地域)	1.00	1.00		
	達成度(%)			50.0	100.0			
	目標値の積算方法	各年度1地域	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9,724.00	9,357.00	
				一般財源(単位:千円)		8,828.00	8,462.00	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		<p>可搬式小型動力ポンプを設置し、また、自主消火組織の育成を行っていることから、大規模災害時の備えや、火災発生時の消火体制が充実し、安全なまちづくりに直結する事業である。 今後も大規模災害時の消防力の不足を補うことを目的に、可搬式小型動力ポンプの整備事業を自主消火組織の育成強化と併せて継続する。</p>						

事務事業分析シート

所属名	警防救急室 警防グループ	事業名	可搬式小型動力ポンプ整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00813				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室 警防グループ	事務事業番号	00813
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>住宅密集地等で、延焼拡大危険の高い地域に優先的に配備するとともに、市内において公平な配備ができるよう年次計画の改善・見直しを進めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	自衛消防組織の育成強化事業				
担当部名	消防本部	室課名	警防救急室	室課長名	廣田 哲也

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	30	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	消防ポンプ等の消火用資機材を有する工場・事業所						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	工場や事業所等で組織する自衛消防隊の強化						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	工場・事業所の自衛消防力の充実							
(7)	事業概要	消防ポンプなどの消火用資機材を有する工場・事業所の自衛消防隊に対し、育成強化を図るため、各種研修会の参加を呼びかけるとともに、装備の充実・強化を指導し、訓練等の実施を推進する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	0	0	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			総額(B)	千円	0	0	0	0	0
		総事業費(A+B)		0	0	0	0	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	0	0	0		
財源計(C+D)		0	0	0	0	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 消火用資機材を有する工場・事業所における訓練回数	目標値	(単位:回)	22.00	22.00	/
			実績値	(単位:回)	11.00	11.00	
		達成度(%)		50.0	50.0		
	目標値の積算方法 各工場・事業所 年2回の訓練実施	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 自衛消防隊を有する工場・事業所における火災件数(暦年にて算出)	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	1.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法 自衛消防隊を有する工場・事業所における火災件数の合計(暦年にて算出)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		工場・事業所の自衛消防力充実のため実施している事業であり、訓練指導等の機会を中心に、今後も継続して行う必要がある。				

事務事業分析シート

所属名	警防救急室 警防グループ	事業名	自衛消防組織の育成強化事業	事業区分	その他
事務事業番号	01328				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	警防救急室 警防グループ	事務事業番号	01328
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>訓練回数の少ない事業所に対して、訓練指導等の機会を活用して訓練の実施を促進する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)